

東京研修会 報告書

令和3年4月20日

貝塚市議会議長 阪口 芳弘 殿

自由市民 簀内 留治

田畑 庄司

食野 雅由

田中 学

令和3年4月12日（月）～4月13日（火）東京研修スケジュール

第1日 令和3年4月12日（月）

10:00～10:45

石破 茂 衆議院議員表敬訪問 衆議院第2議員会館515号室

（意見交換及び引き続いての支援要請）

11:40～13:25

柳本 卓治 前参議院議員表敬訪問 砂防会館別館6階事務所

（意見交換及び引き続いての支援要請）

14:00～15:30

総務省 統計局 勉強会 衆議院第1議員会館 地下第3会議室

- ① 総務省 統計局 統計調査部 井上 卓 部長
- ② 総務省 統計局 調査企画課 佐藤 紀明 課長
- ③ 総務省 統計局 経済統計課 上田 聖 課長

第2日 令和3年4月13日（火）

衆議院第1議員会館 地下第6会議室 にて勉強会

8:30～9:30

自見 はな子 参議院議員 前厚生労働大臣政務官

「新型コロナウイルス感染症対策、ワクチン、「こども庁」について」

10:00～11:00

古川 禎久 衆議院議員 前財務副大臣

「脱炭素・カーボンニュートラルについて」

11:00～12:00

石破 茂 衆議院議員 元防衛庁長官

後藤田 正純 衆議院議員

「地方創生・観光施策について」

13:00～14:25

片山さつき 参議院議員 前地方創生担当大臣

内閣官房国土強靱化推進室 山本 泰司 参事官

金田 拓也 参事官補佐

「国土強靱化の取組の着実な推進について」

「国土強靱化税制の整備・創設に向けての要望」

14:35～15:30

文部科学省 勉強会

文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 今井 裕一 課長

「GIGAスクール構想の実現について」

研修・勉強会内容

第1日 令和3年4月12日（月）

10:00～10:45

石破 茂先生にお会いするため、衆議院第2議員会館515号室をお尋ねし、明日の勉強会で「観光施策について」でご講演いただく打合せも兼ね意見交換をする。

新型コロナウイルス感染症の大阪府の参加市町の感染状況を把握されておられ、大阪市内中心の感染拡大を心配してくれていました。

11:40～13:25

柳本卓治先生にお会いするため、砂防会館別館6階の事務所をお尋ねし、これまで貝塚市に様々な国の支援をいただいたお礼を申し上げ意見交換をしました。

2019年旭日大綬章受章のお話や中曽根康弘元首相のお話などもお伺いしました。



14:00～15:30

谷川とむ総務大臣政務官のお勧めで、総務省 統計局の視察を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大していることから、衆議院第1議員会館 地下第3会議室に担当者において頂きレクチャーを受けました。

① 総務省 統計局 統計調査部 井上 卓 部長

「令和3年2月における新型コロナウイルス感染症に関する主な出来事について」

2月3日（水） 新型インフルエンザ等対策特別措置法など改正案、参院本会議で可決成立

2月13日（土） 特措法改正法施行・世界全体の新たな感染者数が減少傾向に（WHO）

2月14日（日） 米大手ファイザー株式会社製ワクチン 国内初の正式承認

2月17日（水） ワクチン先行接種開始 医療従事者約4万人対象

2月24日（水） 菅首相 高齢者向けワクチンを4月12日から接種開始予定と明らかに

2月26日（金） 菅首相 首都圏を除く6府県について緊急事態宣言を今月末で解除表明等、説明を受ける。

② 総務省 統計局 調査企画課 佐藤 紀明 課長

「住民基本台帳人口移動報告2020年のポイントについて」

都道府県の人口移動状況（転出入超過）や今回参加の大阪府第19区の貝塚市・泉佐野市・泉南市・阪南市・熊取町・田尻町・岬町の資料を揃えていただき、各市町の状況をグラフにして説明をいただく。



③ 総務省 統計局 経済統計課 上田 聖 課長

「令和3年 経済センサス ― 活動報告について
経済センサスで分かること」について説明頂く。

○地域別、産業別に細かく分解しても、統計
誤差が生じない

○企業・事業所版の母集団情報（企業版住民票）
を整備できるとして、同じく大阪府第19区市町
の企業や特色をグラフで説明を頂きました。

以上の3項目でしたが、参加した市町の状況を統計
的に集約してグラフ化して説明をいただきました。
問題点等も見えてきて大変参考になりました。

第2日 令和3年4月13日（火）

衆議院第1議員会館 地下第6会議室にて勉強会



8：30～9：30

自見 はな子 参議院議員（前厚生労働大臣政務官）

「新型コロナウイルス感染症対策、ワクチン、こども庁について」ご講演と質疑応答。

新型コロナウイルス発生の経緯

2019年12月 中国武漢市で原因不明の肺炎が発生。その後新型コロナウイルスと判明。

2020年1月15日 わが国で最初の症例を確認。（武漢市に滞在
歴あり）

2020年1月23日 武漢市を「都市封鎖」。しかし、春節の旅行
や帰省で、多くの人が武漢市を出ていた。

2020年1月28日 「新型コロナウイルス感染症厚生労働省対策
推進本部」を発足。感染拡大防止の戦いが始まる。

2020年2月1日 新型コロナウイルス感染症を感染症法上の指
定感染症（2類相当）、検疫法上の検疫感染症に指定。→感染
者に対する入院措置や公費による医療提供が可能になる。

2020年2月3日 クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」
横浜入港。「50カ国 3,700名のパンデミック」
からの教訓で、保健所業務、国と自治体/保健
所との関係を考える上で様々な知見が得られた。



その後、令和2年3月4日にPCR検査が保険適用になり、令和2年3月13日には、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法が成立し、「緊急事態宣言」が可能になる等説明頂く。その後、ワクチン接種は高齢者からの方が良いとか、後遺症は比較的女性が多いとか、子ども行政のあり方「こども庁」の設立に向けての

ご講演を頂きました。

10:00～11:00

古川 禎久 衆議院議員（前財務副大臣）

「脱炭素・カーボンニュートラルについて」ご講演と質疑応答。

冒頭に、「温暖化と言われているが何℃上昇したと思うか？たった1℃ですよ！！」から講演に入り、気温上昇の「ティッピングポイント」2～3℃になるのは、21世紀中でその対策を立てないと2080年には、4～5℃上がり海面が70cm上昇すると説明されました。

世界の排出量が328億トン（2017年）や日本の排出量12億トン（2019年）ある事と、日本が2050年までにカーボンニュートラルへを打ち出し、与野党が賛成した事。

日本の電力構成の説明で、2019年に約1兆Kwh中、火力が75.8%（天然ガス・石炭・石油）、再生エネルギー18.0%（水力7.7%・太陽光6.7%・バイオマス2.6%・風力0.7%・地熱0.3%）で、火山大国の日本では、地熱発電（地元・地域振興の切り札）を注視すべきであるとの説明をしてくださいました。



11:00～12:00

石破茂衆議院議員元防衛庁長官

後藤田正純衆議院議員

「地方創生・観光施策について」ご講演と質疑応答。

地方創生の観点から、東京都は62市区町村、大阪府は66市町村であり、日本国の人口は毎年50万人ずつ減少して、2100年には、5,000万人になる予想が出ているそうです。

「国土強靱化の取組の着実な推進について」

内閣官房 国土強靱化 推進室 山本 泰司 参事官

内閣官房 国土強靱化 推進室 金田 拓也 参事官補佐

「国土強靱化税制の整備・創設に向けての要望について」をご講演と説明を頂き質疑応答。

平成26年以降に発生した主な自然災害の説明から、「国土強靱化、大災害から人命・財産を守ること」として、東日本大震災・南海トラフ巨大地震・首都圏直下地震など、また大規模自然災害による実際の被害と予想される被害の推計の説明から国土強靱化として、今後の基本目標である「強さ」と「しなやかさ」を持った安全な国土・地域・経済社会を構築すること。

さらに、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が、令和2年度で完了するに伴い、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として、令和3年度～令和7年度までの5年間、集中的に実施することの説明を受けました。

重点的に取り組む対策・事業規模内容

○ 対策数：123件

○ 事業規模：おおむね15兆円程度を目途

1. 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策 [78対策：おおむね12.3兆円程度]
2. 予防保全型インフラメンテナンスへの転換にむけた老朽化対策 [21対策：おおむね2.7兆円程度]
3. 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進 [24対策：おおむね0.2兆円程度]

また、国土強靱化地域計画に基づく取組みを進める3つのメリットの説明を受けました。

大阪府の国土強靱化地域計画策定状況（令和3年3月1日現在）では、大阪府第19区の市町は既に策定済みであります。

国土強靱化推進室 山本 泰司 参事官からは、令和2年11月に、北海道・東北・北陸・中部・関西・中国・四国・九州の各経済連合会から出された「国土強靱化税制」の整備・創設に向けての要望についての説明を受けました。

14：35～15：30

文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 今井 裕一 課長

「GIGAスクール構想の実現について」

令和元年度から令和5年度までの計画として、令和元年度補正予算で2,318億円、令和2年度1次補正予算2,292億円、令和2年度3次補正予算209億円の4,819億円が計上された説明を受けました。

内訳として、児童生徒の端末整備支援に3,149億円、学校ネットワーク環境の全校整備に1,367億円、

GIGAスクールサポーター配置促進に105億円、緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備に

197億円が文部科学省所管で計上されていることを「我が国における学校ICT環境の現状について」、「各自治体のICT環境整備の進捗状況について」、「1人1台端末の本格運用に向けた文部科学省の推進方策について」、「教員への研修等について」、「GIGA StuDx 推進チームによる指導支援について」、「データ利用活用とデジタル教科書の今後の在り方に関する検討状況について」と、項目別に説明を頂きました。



今回の研修・勉強会は、石破 茂先生、柳本 卓治先生の表敬訪問と二日間に渡り、6項目の勉強会は中身の濃い大変有意義な内容でした。

特に第1回定例会の代表質問で「GIGAスクールについて（デジタル教科書）」の質問をしたことから、勉強会で多めにいただいた資料を担当課に渡し、文部科学省の動きを報告しました。

*研修会では、三密を避けるためマスクを着け、席の間隔を空け、窓を開けて開催しました。国会議員との写真も密を避けるため集合写真ではなく、マスクは外しましたが無言でツーショットとしました。

以上、報告といたします。